

令和5年度 学力検査 (NRT)、全国学力・学習状況調査の結果について

4月12日に2～5年生を対象とした学力検査 (NRT)、4月18日に6年生を対象として全国学力・学習状況調査が実施されました。これらの結果をもとに本校の今後の取組についてお知らせします。

◇学力検査 (NRT) 結果より◇ 全学年の傾向をまとめて表記しています。

令和5年度標準学力検査NRT (2～5年生実施) では、学校全体としては、国語では全国平均を上回り、算数は全国平均をやや上回る結果でした。少人数指導の良さを生かした学習の中で基礎・基本の定着を意識して取り組んでいる成果が現れていると考えられます。ただ個人による差が大きく、個に応じた指導をしていくことで全体的な底上げにつなげていく必要があります。

【国語】学校全体としては領域別で「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」ともに全国平均を上回りましたが、学年によっては「読むこと」「書くこと」に課題が見られました。

【算数】学校全体としては、「図形」「変化と関係」は、全国平均をやや上回り、「数と計算」と「測定・データの活用」領域は全国平均と同様の結果でした。

◇全国学力・学習状況調査結果より◇ 具体的な数値はお知らせできません。全国と比較して表記します。

国語	同様である
算数	上回っている

【国語】内容別では、「知識および技能」の情報の扱い方に関する事項と、「話すこと・聞くこと」「読むこと」は全国正答率を上回りましたが、「知識および技能」の言葉の特徴や使い方に関する事項や「思考・判断・表現」「書くこと」は全国を下回りました。問題別では「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる」「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」等の問題で、高い正答率で全国を上回りました。一方で、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」といった問題で、低い正答率で全国を下回りました。

【算数】領域別では、全ての領域で全国正答率を上回りました。問題別では「5脚の椅子を重ねたときの高さを求める」「椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く」等の「変化と関係」領域の問題で、高い正答率で全国を上回りました。一方で、「全部の椅子の数を求めるために、 50×40 を計算する」「 $(151 + 49) \times 3$ と $151 \times 3 + 49 \times 3$ を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める」といった「数と計算」領域の問題で、低い正答率で全国を下回りました。

* 国語・算数とも無回答者が少なく、単元テスト等において意識してきた「あきらめずに最後まで丁寧に取り組む」姿勢が反映されていました。

【児童質問紙より】

- ①全国平均を上回っている項目で特徴的なもの 「あてはまる」の割合が高かった主な項目
 - ・自分には、よいところがあると思いますか。
 - ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
 - ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。
- ②低い回答が全国を上回った項目で特徴的なもの
 - ・学校に行くのは楽しいと思いますか。

◇今後の取組◇ (代表的なもの)

- ・今後も少人数指導のよさを生かした、個に応じた指導を継続していきます。
- ・国語では、条件を満たした文章を書くことや、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる場面を設定したり、学習した漢字を、日常の中で正しく使用するように指導していきます。
- ・算数では「数と計算」等の基礎・基本の定着をめざした取組を継続し、学力の向上を図ります。また「図形」「測定・データの活用」領域において、授業の中でICTを効果的に活用し、知識の定着を図ります。
- ・授業やその他の活動での、タブレットの効果的な活用につとめていきます。
- ・家庭学習の手引きの配布や懇談会等での交流を通して、家庭においても学習を振り返る場を設定し、各教科における基礎・基本の定着を充実させます。